

山口大学教育学部附属光中学校

令和3年度 使用教科書

教科名	発行者番号・略称	発行者名
国語	38 光村	光村図書出版株式会社
書写	38 光村	光村図書出版株式会社
地理	46 帝国	株式会社帝国書院
歴史	46 帝国	株式会社帝国書院
公民	46 帝国	株式会社帝国書院
地 図	46 帝国	株式会社帝国書院
数 学	11 学図	学校図書株式会社
理 科	61 啓林館	株式会社新興出版社啓林館
音 楽	27 教芸	株式会社教育芸術社
器 楽	27 教芸	株式会社教育芸術社
美 術	116 日文	日本文教出版株式会社
保 体	2 東書	東京書籍株式会社
技 術	2 東書	東京書籍株式会社
家 庭	2 東書	東京書籍株式会社
英 語	2 東書	東京書籍株式会社
道 徳	232 廣あかつき	廣済堂あかつき

令和3年度使用教科用図書選定理由（国語）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
国語	光村図書出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の趣旨と特色にある「しんじつを見極められる人に」という考え方に共感できる。 ○ 各題材の最後に設けられている「学習」によって、学習の見通しをもち、学びを自覚することができる。 ○ 3学期制でも2学期制でも対応できるように教材が配置されているので、学校の実態に応じて取り扱いやすい。 ○ 多様な題材がバランスよく配置されており、生徒の実態に応じて取り扱いやすい。 ○ 学んだことや身に付けた力を日常生活で生かすためのポイントが示されている。 ○ 「文法への扉」では、生活場面をきっかけに言葉の規則性に気付くことができる。 ○ 「情報の扱い方」に関する情報が多くあり、新しく求められる力に対応している。 ○ 「学習の窓」で、思考ツールや図表を用いて情報を視覚化し、整理しながら共有する方法を具体的に示している。 ○ 中学生が読んでいるような作家の文章が多く取り上げられている。 ○ 各学年で「学習を振り返ろう」に取り組むことによって、身に付けた力を自覚し、日常生活に主体的に生かすことができる。 ○ 巻末の「時」や「色」、「季節」を表す言葉のページで、言葉の豊かさや美しさを味わうことができる。 ○ 字は小さめではあるが、教科書本体は比較的軽量である。 ○ 上下段に分かれる文章では上下間に罫線があるので読みやすい。 ○ 重要箇所の線やマークの種類を多様に用いることで、区別しやすく、理解を促す工夫がしてある。 ○ 小学校の復習や高等学校を意識した題材があるなど、入学前、卒業後の繋がりが感じられる。 ○ 1年巻頭で、小学校で学習した内容を確認できる「言葉に出会うために」が配置されている。 ○ 学校行事の案内など学校生活に活用できる項目がある。 ○ 「思考の地図」によって、様々な場面で使える思考の広げ方や整理の仕方、深め方を身に付けることができる。 ○ デジタルコンテンツを活用できるようになっている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（書写）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
書 写	光 村 図 書 出 版 株 式 会 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書くことは全ての学びの基本」という考えのもとに編集されている。 ○ 3学年分の学びが1冊になっているので、学びの見通しをもちやすい。 ○ 第1学年から第3学年までの内容が1冊にまとめられ、3年間の学びを見通した学習ができるようになっている。 ○ 「書写ブック」で硬筆の課題もあり、家庭での学習にも役立てそうである。 ○ 全ての教材に、目標及び自己評価の観点を明示し、身に付けるべき力を意識することができる。 ○ 楷書、行書、それぞれの目的や用途を考える資料が多くあった。 ○ 文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動が設定されている。 ○ 日常で字を書く場面やその資料が豊富である。 ○ 学んだことを生活の中で意識させる教材が設けられている。 ○ 日常で字を書く場面やその資料が豊富である。 ○ 巻末に常用漢字等の一覧表が掲載されている。 ○ 墨や水で濡れても大丈夫な表紙である。 ○ ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○ 「小学校の学習を振り返ろう」が設けられている。 ○ コラムや「発展」のページでは、「文字の歴史」や王羲之の筆跡を載せ、高等学校での学習と関連付けている。 ○ 「デザインと文字」など日常で字を書く機会に参考になる資料がある。 ○ 学校行事で生かせる作例が掲載されている。 ○ 動画による筆遣いが確認できる点が非常によい。

令和3年度使用教科用図書選定理由（社会 地理）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
社会 地理	株式会社帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめの「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」、章や節の終わりの「振り返ろう」など、問いを構造化することで、単元のまとまりのなかで問題解決的な学習を行い、「深い学び」を実現できるように構成されている。 ○ 生徒の興味・関心を引く「導入」、学習を見通せる「学習課題」、丁寧で分かりやすい「本文」、学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の順で、見開き1単位時間の紙面が構造化されており、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に理解できるようになっている。 ○ 各ページの「説明しよう」では、本時の学習内容を活用して自分なりに判断・表現する問いを設け、生徒の思考を促している。また、章末には、章の学習で得た知識を生かして、地理的な見方・考え方を働かせつつ、思考・判断・表現する課題が設定されている。 ○ 生徒にとって親しみやすいキャラクターが各ページに配置され、導入資料に関する発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「もくじ」「この教科書の学習のしかた」では、単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置付けや見通しをつかみやすいように工夫されている。 ○ 本文ページ下段には「小学校・歴史・公民との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるように関連用語が示されている。また「日本の諸地域」の冒頭のイラスト地図では、小学校の既習事項を復習できる問いが設定されている。 ○ 「環境」「防災」「共生」をテーマに、持続可能な社会の実現に向けた実社会の取組を紹介したコラムを設け、現代及び将来の社会が直面する課題を考えられるように工夫されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（社会 歴史）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
社会 歴史	株式会社帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人々の多様性を踏まえた社会の成長を考えていける教科書」を基本方針とし、当時の様々な立場や選択を踏まえて考察する活動が設けられ、社会の多様性を踏まえた多面的・多角的な考察ができるようになっている。 ○ 各章や節の冒頭に示される単元を貫く問いを基に学習課題に取り組み、章末や節末の「学習を振り返ろう」で学習内容を確認するなど、単元のまとまりで学習できるように配列されている。また、社会の様子を描いた「タイムトラベル」で時代の特色を見通すことができるように工夫されている。 ○ 1単位時間の紙面が「導入」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるようになっている。また、「技能をみがく」コーナーでは、歴史的な見方・考え方を働かせる上で必要な技能を習得できるように工夫されている。 ○ 本文ページの「確認しよう」「説明しよう」では、本時の学習内容を活用して、自分なりに判断・表現する問いが設定されている。各章末の「章の学習を振り返ろう」では、学習で得た知識を基に、論理的な説明に取り組むように工夫されている。 ○ 「タイムトラベル」のイラストから重要な場面を探し出すなどの工夫によって、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習につながるものとなっている。また、学習の仕方を参考に自学自習を進めていく工夫が見られる。 ○ 教科書の冒頭には「この教科書の学習のしかた」「タイムトラベルの学習のしかた」などが掲載され、自学自習がしやすいように工夫されている。 ○ 「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるように関連用語が示されている。 ○ コラム「未来に向けて」では、現在及び将来の社会が直面する課題に関する歴史的な経緯が取り上げられている。 ○ 「タイムトラベル」では「前の時代と比べてみよう」が設けられ、歴史的な見方・考え方を働かせながら、時代の特色を考えることができるように工夫されている。また、地域史を取り上げたページが多く、日本の伝統や文化への理解を深めるように工夫されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（社会 公民）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
社会 公民	株式会社帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「よりよい社会をめざして自ら考え、主体的に社会の形成に参画できるようにするために」という理念のもと、主体的・対話的で深い学びの実現及び現代社会の見方・考え方の習得、社会参画への意欲向上をめざしている。 ○ 現代社会、政治、経済、国際の各4部では、章・節・見開きの3段階で構成されている。各段階には、問いと振り返りがそれぞれ設けられており、繰り返し取り組むことができるようになっており、課題を自分なりに追究していくことができるように工夫されている。 ○ 各章の冒頭では身近な具体例を用いるなど、生徒にとって分かりやすい解説が充実している。抽象的な概念が多く、登場する経済の学習では、「連続コラム」を設置して、学習内容の理解を促すように工夫されている。 ○ 特設ページ「アクティブ公民」を適宜設け、社会に見られる課題の解決に向けて、見方・考え方を働かせながら、説明、話し合いをして考えを深める工夫がされている。また、章末の「章の学習を振り返ろう」では、他の生徒の意見を基に、自分の考えを多角化させる場面が設定されている。 ○ インタビュー「先輩たちの選択」では、登場した人物から中学生に向けたメッセージなどが掲載されるなど、生徒が自分の生き方を考え、社会参画への意欲や勇気をもつ内容になるように工夫されている。 ○ 各章の冒頭には、紙面全体のイラストから社会の全体像を概観する特設ページ「学習の前に」が設けられ、このイラストを読み解くことで、公民で学ぶ社会の仕組みや制度と現実の生活とを結び付けるように工夫されている。 ○ 社会の全体像を概観するイラスト「学習の前に」では、小学校の既習事項を想起できるように工夫されている。また、「章の学習を振り返ろう」では、現代的な諸課題の解決に向けた構想が重視されており、高等学校の「公共」への接続に向けた工夫が見られる。 ○ 動画などのコンテンツにアクセスできるQRコードが25か所掲載されており、タブレット端末等での学習や自主学習で有効活用できるように工夫されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（社会 地図）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
社会 地図	株式会社帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今を問い、未来をともに拓く力」の育成をめざし、社会科の学習をサポートする地図帳として、教科書との連携を密接に図るため、教科書の学習内容を補完したり、より深めたりする資料を豊富に取り上げている。また、歴史関連ページや公民関連ページを新設し、3年間の社会科全体で活用できるように工夫されている。 ○ 地理的分野の教科書の構成にあわせて、世界全体の資料、世界各地域の一般図と資料、日本各地域の一般図と資料、日本全体の資料、世界と日本の統計資料の順で配列されている。 ○ 世界の各州・日本の各地方のページには、それぞれの地域を概観する自然・産業・人口などの主題図を設け、基礎的・基本的な知識を獲得できるようになっている。また、一般図のタイトル部分に「この地域で注目したい記号」を記載し、地域を見るときのポイントを明示することで、地域の特色が捉えやすくなるように工夫されている。 ○ 世界の各州・日本の各地方の「テーマ資料」では、地理的分野の諸地域学習の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料を取り上げている。また、資料のポイントなどを示した吹き出しを設けることで、地理的な見方や考え方が習得できるように工夫されている。 ○ 日本との結び付きが強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には、見開きの鳥瞰図を掲載し、海底地形まで表現することで、生徒が地域の自然地形のイメージを捉えられるように工夫されている。また、SDGs を特集するページを設け、現代社会の諸課題などについて学習を深められるように工夫されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（数学）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
数学	学校図書株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りや数学の学習の中から、生徒が自ら問題を発見し、それを数学の問題として考えていく中で、問題を解決するための力を育成できるように工夫されている。また、生徒がどのような数学的な見方・考え方をすればよいか等を捉えることができる。 ○ 各章は、課題を見いだす場としての導入、課題を解決し新たな内容を理解するための本文や「例」、その習得を図るための「問」、基礎・基本を確認するための「確かめよう」、学習の総まとめを行なうための「章のまとめの問題」と、一貫した学習ができる。 ○ 全ての節に「確かめよう」のページを設定し、基礎的・基本的な知識や技能が習得できているかをきめ細かく確認し、定着が図れるように工夫してある。計算領域では、側注に「やってみよう！」を設けて「計算力を高めよう」へのリンクページを示す等、計算の習熟ができる。 ○ 「数学的活動のページ」では、身の回りの事象の中から問題を発見し、考察したり、性質を見いだしたりすることで、統合的・発展的に課題を解決していく力を身に付けることができる。 ○ 具体物を操作する活動と、数学的に考えたり説明したりする活動を結びつけ、興味・関心を高めつつ、数学的な表現・処理のよさや数学が生活や社会に役立つことが実感できる。 ○ 巻頭の「教科書の使い方」では、これからの学習の中でどのような見方・考え方をしていけばよいかを掲載している。巻末には、各学年の章ごとに復習ができるページや解答を掲載するなど、自主学習ができる。 ○ 表紙は表面にコーティングを施すことで汚損しにくくなっている。 ○ 色の違いで区別するのを避け、記号などの違いで判断できるようにする等、写真、イラスト、図版、本文の記述等のすべてにおいてカラーバリアフリーとなるように配慮されている。 ○ 第1学年に「ふりかえり～算数から数学へ～」を設け、小学校の学習内容を確認できるように工夫されている。また、第3学年の「高校へのかけ橋」では、中学校の内容と関連のある題材を取り上げ、高等学校の数学につながるようになっている。 ○ 章末の「深めよう」や巻末の「疑問を考えよう」などの課題を通して、教科等横断的な学習に取り組むことができるようにする等、数学のよさや社会における数学の役割が理解できる。 ○ 各学年の口絵では、身の回りにある建造物や伝統模様などの写真を取り上げることで、興味・関心を高めるとともに数学的な観察のしかたができる。

令和3年度使用教科用図書選定理由（理科）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
理科	株式会社新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学ぶ意欲が高まり、探究しようとする態度を育てる教科書」「基本事項が定着し、さらなる学力の向上へ導く教科書」「科学的な思考力・表現力を育て高めていく教科書」「科学を学ぶ有用性を感じ、学び続ける姿勢を育てる教科書」を基本方針として編集されている。 ○ 探究を通して資質・能力を育てるため、1年間の最初から探究を意識して学習を進められる構成になっている。巻頭で課題の把握、追究、解決という過程を解説し、それを何度も繰り返すことでステップアップするように工夫されている。 ○ つまづきやすい問題は、例題や練習で丁寧に考え方を説明するとともに、「なるほど」で誤概念を取り上げ、正しく理解するポイントを示すなど、基礎・基本が定着するように工夫されている。基本的な実験操作や器具の使い方等は「実験(観察)スキル」で丁寧に解説され、技能が確実に習得できるように工夫されている。 ○ 学習課題を軸とした課題解決の流れを繰り返し、探究的な学習によって、科学的な思考力が身に付くように工夫されている。主体的・対話的な学びの場面として、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」が設けられ、理科の見方・考え方を重視した学びの場面が設定されている。 ○ 単元の導入では身近な問いが取り上げられ、生徒が興味をもって学習に入ることができるように工夫されている。また、科学コラムでは、部活動や料理など日常生活や社会との関連を意識した内容を多数取り入れ、理科を学ぶ有用性が実感できるように工夫されている。 ○ 生徒自身が主体的に考えて実験ができるよう、書き込み式の「探Qシート」が巻末についており、生徒の活動がサポートされている。 ○ 左右に広いA B判を採用し、丁寧な本文記述とダイナミックな図や写真との両立が図られている。 ○ ユニバーサルデザインフォントが採用され、フォントサイズや行間にも配慮されている。 ○ 「つながる学び」や「思い出してみよう」で、小学校の内容や既修事項を確認できるように工夫されている。 ○ 巻末に「理科でよく使う算数・数学」、本文中に「算数・数学と関連」のコーナーを設け、計算などの理解を促すように工夫されている。 ○ ICTの活用に向け、動画やアニメーション、外部リンクなどのコンテンツにつながるQRコードが随所に掲載されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（音楽 一般）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
音楽 一般	株式会社教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「音楽で生活を豊かにする心を育む」「音楽科の確かな学力を育む」「主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促す」の三つを基本方針としており、体験活動や話し合い活動を多く取り入れ、考える視点が例示されているところがよい。 ○ 学習内容をまとめた「学びの地図」で見通しをもつとともに、「音楽を形づくっている要素」のページで学習を振り替えることができるように配列されており、わかりやすい。 ○ 教材ごとに目標、活動、音楽を形づくっている要素が分かりやすく示されており、音楽の構造について理解を促す内容がキャラクターの吹き出しで示されており、わかりやすい。 ○ 感受したことや知覚したことを記述する場面の設定や作品例などの掲載により、学習の進め方が丁寧に示されている。また、思いや意図をもって表現したり、音楽や演奏のよさを味わいながら鑑賞したりするために必要な情報が適切に示されている。 ○ 巻頭ページには、各界の著名人が音楽と自身の関わりについて中学生に向けて語った文章と写真が示されていることで、子どもの興味・関心を高めており、学びに向かう力の育成を後押ししている。 ○ A4変形判の紙面で、楽譜や歌詞が見やすく、楽曲と学習内容との関係がわかりやすく示されている。 ○ 9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、歌詞や楽譜の近くにイラストや写真を配置する場合、必要な情報に着目できるようにシンプルなデザインが採用されている。 ○ 歌を通して他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材が取り上げられており、道德教育などとの関連を図ることができるよう工夫されている。 ○ 「指揮をしてみよう」「My Melody」を3学年全てで扱うことで、表現の基礎を確実に学ぶことができている。また、QRコードから動画や音声などを視聴することで、まねて歌うという日本の伝統音楽で受け継がれてきた学習方法を体験することができる。

令和3年度使用教科用図書選定理由（音楽 器楽合奏）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
音楽 器楽合奏	株式会社教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「音楽で生活を豊かにする心を育む」「音楽科の確かな学力を育む」「主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促す」の三つを基本方針としており、幅広いジャンルの楽曲に取り組むことで、音楽と生活や社会との関わりを生徒自身が考えられるようになっている。 ○ 「学びの地図」が設けられ、主体的に学習に取り組むことができるようになっている。器楽の活動を通じた学びに注目できるように、学習目標と活動を明示した「アンサンブルセミナー」が冒頭に配置されている。 ○ 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気づきや理解を促す「Q&A」やキャラクターの吹き出しが適切に配置されているとともに、楽器の奏法や基本的な技能が写真や図で分かりやすく示されており、無理なく取り組むことができる。 ○ 様々な楽器が豊富な写真を用いて扱われており、生徒の主体性を引き出すことができるよう工夫されている。また、演奏家の写真やメッセージが掲載されており、楽器への興味・関心・意欲を高めることができる。 ○ 巻頭にピアニストのインタビューが掲載されており、楽器を通じた音楽文化に親しみ、尊重する態度を養うことができる。 ○ A4変形判の紙面で、楽譜や歌詞が見やすく、楽曲と学習内容との関係が分かりやすく示されている。 ○ 9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されている。基本的に白を基調とした紙面となっており、歌詞や楽譜の近くにイラストや写真を配置する場合は、必要な情報に着目できるようシンプルなデザインが採用されている。 ○ 様々なアンサンブル活動を通して協働しながら学習を進めたり、箏のページで姿勢と礼儀に触れたりすることで道徳科との関連を図っている。 ○ 「My Melody」では、箏による創作コーナーがあり、伝統音楽に親しめるようになっている。アンサンブル曲や身近な楽曲が豊富に掲載されており、生徒が主体的・意欲的に取り組めるように工夫されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（美術）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
美術	日本文教出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の成長に合わせた美術の学び」「生活や社会とつながる美術の学び」「新しい価値を創造する美術の学び」の実現をめざした編集がされている。 ○ 3年間の発達の段階に即した題材設定になっており、各題材は表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮されている。題材のねらいを丁寧に示し、言語活動や制作過程など多く掲載されており活動の参考にすることができる。 ○ 「造形的な視点」を設定し、美術科における知識である〔共通事項〕への意識を促し、造形活動と知識が結びつけられているため工夫することができる。 ○ 表現中心の題材においては、発想や構想と鑑賞の双方で働く「中心となる考え」が明確にされており、多様な学習場面で生かす工夫をすることができる。 ○ 「学びの目標」において、分かりやすい言葉で目標が示され、生徒が主体的に学び、振り返りを工夫して行うことができる。 ○ 多方面で活躍している方々を紹介し、美術の力を幅広く捉えて将来に生かせるようなメッセージを掲載している。巻末は、資料が充実しており美術の学びを支えている。 ○ A4ワイド判で美術1と美術2・3上、下の3冊構成である。鑑賞教材では、原寸大の鑑賞図版を多く掲載し、実物の鑑賞体験に近い体験をすることができる。 ○ 全頁を通して、文字と背景のコントラストを意識し、カラーユニバーサルデザインの観点で配慮されており、全ての生徒が等しく学べるように配慮されている。 ○ 小学校の図画工作を学んだ生徒が中学校美術の表現や鑑賞活動に対しても意欲を高める導入ページを設けるなど、3年間の見通しをもって学習を進めることができる。 ○ カリキュラム・マネジメントの充実を図り、美術の学びを様々な場面で生かしている。また、道徳科と関連するページには道徳マークが示されており、道徳科と美術科の関りについて意識して活動をすることができる。 ○ QRコードにおいて、動画や作品のスライドショーが充実しており、家庭学習にも使用できる。

令和3年度使用教科用図書選定理由（保健体育）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
保健体育	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="395 398 1422 629">○ デジタルコンテンツが充実しており、学習内容に関する動画やシミュレーションなど二次元コードからiPad等を利用して、すぐに動画を確認することができる。また、他教科との関連や関係するWebページを利用し、必要な情報を各自で調べることができるため、学習効果が高いと考える。 <li data-bbox="395 685 1422 869">○ 文字と資料のバランスが良く、見やすい見開きになっており、また、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」が、学習の流れに沿って配置され、レイアウトに沿って進めることで、学習しやすいと考える。 <li data-bbox="395 925 1422 1059">○ 章末資料では、今日的な課題に対応した資料が項目ごとに掲載されており、運動や健康、安全についての幅広い知識等を身に付けることができると思う。

令和3年度使用教科用図書選定理由（技術）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
技術	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準的に「導入」「展開」「まとめ」で構成されており、教科書を使って授業を構想しやすいように工夫されている。全編にわたって「問題解決カード」が設定されており、学習の進め方、学び方が分かりやすく示されている。 ○ 技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な思考に基づく知識が習得できるように工夫されている。また、問題解決に必要な基礎的な技能を「TECH Lab」にまとめて掲載し、問題解決の場面で適宜活用できるように工夫されている。 ○ 「チェック 技術の見方・考え方」や「最適化の窓」など、既存の技術から見方・考え方を確認できるように工夫されている。また、各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒が技術を評価し、適切に選択、管理・運用することや、新たな発想に基づいて改良、応用するためのワークシートが掲載されている。 ○ 各節の脚注等に「技術の匠」が掲載されており、学習への興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ 巻頭には、技術の見方・考え方を様々な視点の例示を取り上げてまとめた「最適化の窓」が、巻末には、簡単なプログラミングをいつでも体験できる「プログラミング手帳」が設置されている。 ○ 書体は全てユニバーサルデザインフォントが使用されており、可読性を高めるように配慮されている。 ○ 随所に小学校や他教科での学習内容との関連について示されており、学びにつなげやすくなるように工夫されている。 ○ 「防災・安全への取り組み」「伝統・文化」「情報モラルへの対応」「オリンピック・パラリンピック教育」などの現代的な諸課題への対応や「Society5.0」「これからの発電方法」などの最新技術についても多数取り上げられている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（家庭）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
家庭	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自立と共生」をテーマに、実践的・体験的に取り組み、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成することをめざして編集されている。ビジュアル資料を充実させ、意欲が高まる実習例をあげ、初めて教科書を用いる生徒などに分かりやすく使いやすい教科書になるように編集されている。 ○ 教科書の配列は、全国の指導計画の傾向や生徒の発達段階、興味・関心を踏まえて、学びやすい流れとなるように構成されている。また、学習が系統的に進められるように、学習内容・実習内容が基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ○ 本文等の内容を裏付ける実験などの資料を取り上げ、科学的な根拠に基づいた知識が習得できるように工夫されている。「いつも確かめよう」では、確実に身に付けてほしい技能を示し、基礎的・基本的な技能の習得を促すように工夫されている。 ○ ガイダンス及び各編の導入では、見方・考え方について例示し、生活の営みに係る見方・考え方からより良い生活を創ろうとする態度を身に付けることができるように工夫されている。また、「プロに聞く！」や「せいかつメモ」が脚注等にあるため、生徒が興味をもって読むことができ、今後の実践的な態度につながる工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用して可読性を高めたり、教育漢字以外の漢字には全てふり仮名を付したりと、多様な生徒の学習を保障できるように配慮されている。カラーバリアフリーの観点から配色やデザインについても工夫されている。 ○ 家庭分野のガイダンスで、中学校と小学校の学習内容を見開きで写真とともに提示し、小学校の学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが分かるように工夫されている。

令和3年度使用教科用図書選定理由（英語）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
英語	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学んだ表現を用いて「話す」活動を行うことで、音から学習内容に入る流れになっていたり、小学校で既習の学習内容について、中学校1年次の学習の初期段階で全体的にふれることで、中学校での文法学習につなげたりと、小中接続期の学習内容を充実させることで、学習内容の定着を図ることができると思う。 ○ 各単元の始まりにおいて、新出文法を使用する目的・場面・状況を表すような音声材料があり、音と映像から、生徒が新しい学習に気付くようにしているため、生徒自ら新しい学習内容に興味をもつことができると考える。 ○ 写真等の視覚的教材を導入に設け、設問から問題提起をすることで、単元を通して生徒が常に考えながら題材に関わることができる。また、題材について、概要から詳細の順に捉えていく読み方ができるようになっているため、題材を読みながら、生徒が自分の考えを深め、表現する力を身に付けられると考える。 ○ 即興的なやりとり(speaking)、適切な形式で書く活動(writing)、様々な題材をもとにした聞き取り(listening)、目的に合わせた読む活動(reading)など、各領域に特化した活動を行うため、目的・場面・状況に合わせたコミュニケーション能力を伸ばすことができると考える。 ○ 題材として「日本の伝統・文化」、「異文化や国際社会」、「今日的課題(道徳、人権、防災・安全など)」を取り上げているため、英語を学習しながら生徒が自らの視野を広げ、社会の一員として積極的に世界とつながることができると思う。

令和3年度使用教科用図書選定理由（道徳）

山口大学教育学部附属光中学校

教科	出版社	選 定 理 由
道徳	廣濟堂あかつき株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、議論する道徳」の実現に向けて、みずみずしい感性をもつ中学生に出会ってほしい感動教材や、「いじめ問題」に真剣に向き合うための教材、「インクルーシブ」「情報モラル」「持続可能な社会」などの現代的な課題を扱った教材が、問題解決的な学習を促す教材として数多く掲載されている。 ○ 内容項目のうち「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」の4つを重点項目として、各学年で3時間3教材が配列されており、学習指導要領の総則にある「指導の重点化」が考慮されている。また、喫緊の教育課題である「いじめ問題」と関連の深い内容項目の配当時間を増やしており、指導の充実を図っている。 ○ 各教材末の「学習の手がかり」では、生徒が教材や他者、自己内対話を通して、自分とのつながりの中で道徳的価値について考え、理解を深められるように考えるきっかけとなる「問い」や「めあて」が提示されている。 ○ 本冊、別冊ともにA B判であり、文字や行間を統一したり、イラスト配置を工夫したりして、読みやすい紙面構成になっている。また、本冊に別冊を挟み込み、一体となるように製本されているため、紛失を防ぎ、管理もしやすくなっている。 ○ 「道徳ノート」の巻末には、自分の考えの変容や心の成長に気付けるように、授業の記録欄や学期ごとの振り返り欄等が設けられおり、評価を適切かつ負担なくできるように工夫している。また、発問が記載されていないので、授業の構想に応じて柔軟に使用できるノートになっている。